

## マレーシアのムスリム

平山美佳\*

### ■マレーシアとシリア

私は今マレーシアで生活しているが、以前シリアにも滞在していたことがある。マレーシアは人口の約6割がムスリム、そしてシリアは人口の約9割がムスリムである。どちらもクルアーン（コーラン）の教えに従って生活しているが、気候や風土、民族や社会環境などが違うのだから、両者の生活や考え方は、全く同じではありえない。マレーシアのムスリムはどんな人達なのだろう？ そんな思いで、2年前、私はマレーシアにやって来た。

違いはすぐに目についた。だってそもそも着ているものが違う。マレーシアの女性は色鮮やかなバジュにトドンだが、シリアの女性は黒や茶色のロングコートにトドンだった。どちらも体の線を出さないというイスラムの教えを守っている。なおかつ、マレーシアの色彩豊かな風景には色とりどりのバジュがよく似合っているし、シリアのシックな石と砂の色の街並には地味な色のコートの方が風景によく溶け込んでいた。

それから、挨拶の仕方も違った。どちらの国でも、相手が異性の場合には、自分の胸に手をあてるだけで接触がないように気をつけるのは同じだが、同性同士の場合。マレーシアでは、女性同士で挨拶をするとき、お互い

に両手で相手の手を包むように握手をして、その手を自分の胸にあてる。シリアの場合、シリア人の家庭を訪問したりすると、その家の母親に、初対面でもいきなり抱きしめられ、両頬にキスのプレゼントまでついてくる。マレーシアの挨拶はアジアらしく謙虚でかつ心がこもっていて好きだし、シリアの挨拶は、ちょっとドキドキするけれど、お互いを近く感じる事ができていいなあと思う。でも少なくともアジアとは違うなあとも思う。

### ■目に見えない違い

服装と挨拶は目に見える違いだけれど、ここで目に見えない違いを考えてみたい。なんとなくだけれど、マレーシアのムスリムのほうが、教えに忠実であろうと常に意識しているような感じがする。もちろんシリアのムスリムも教えに忠実であるが、周りがみんなムスリムだから、自然に生活していれば、それがそのままムスリムの生活になる。それにやはりイスラム教は砂漠で生まれた宗教で、中東にあるシリアのほうが本場というイメージもある。本場ゆえの余裕なのかもしれないが、とにかく自然なのである。でもマレーシアの

\* 国際交流基金派遣青年日本語教師

ムスリムは、自分たちはイスラム教に忠実でなければ、そして優等生でなければと、常に自分達に言い聞かせている気がするし、実際に優等生でもあると思う。

他の国からマレーシアに来たムスリムの女性に会ってメッカ巡礼の話聞いていたとき、彼女はこんなことを言っていた。「巡礼には世界中からイスラム教の人々が集まるけれど、その中でも特に、マレーシアのムスリムは礼儀正しいと言われてるんですよ。」

あるいは、こちらでイスラム教に改宗した日本人の方が話していた。「米国でのテロ事件のあと、アメリカがアフガン侵攻を始めたとき、世界中で一番強くアメリカに対して抗議の声をあげたのはマレーシアだった。それを知った日本人は、本場の中東ではなく、なぜ東南アジアのマレーシアから、と不思議に思った人が多かったようだ。」

他に例えば、どんなときにマレーシアのムスリムはイスラム教徒として優等生だなあと感じるかというと、例えば私が作った料理を出したとき。シリアでも、シリア人に私が作った料理をすすめたときなどに材料を聞かれたけれど、酒の成分や豚肉を使っていないと分かれば食べてくれていた。だから、ハラルでない食材の調理に一度でも使われた道具や台所で作られた料理は、たとえ食材がハラルのものでも本当はだめだとは、実はマレーシアに来るまで知らなかった。

食事に限らず、お祈りの時間の守り方にしても、何に対しても、その守ろうとする姿勢のようなものが、マレーシアの人々からは強く感じられるのである。もともとシリアにはハラルではないもの自体がそんなに存在しないし、情報もコントロールされているから、教えに背くものに誘惑される機会自体が少ない。しかし、マレーシアのような多民族国家で宗教を守るためには、常に意識している必要があるのだろうか。

#### ■二つの国で暮らして

たまたま二つのイスラム国で生活することになったので、ついつい違いを探してしまうけれど、小さな違いがあるにせよ、同じ宗教を持つ人々なのだから、当然のことながら根本のところは同じである。私のようにイスラム教にあまり詳しくない者でも感じるができるのは、お客に対する彼らのホスピタリティーと、家族を大切にする心である。異国での暮らしで、彼らのホスピタリティーのおかげで助けられ、元気になれたことが幾度あったか分からない。マレーシアに赴任が決まったとき、どんな国なのかほとんど知らなかったが、イスラムの国と聞いてとりあえず安心した。来てみたら、シリアと変わらず、心優しい人々がいた。